



2020年7月31日

各 位

会 社 名 株式会社ワコールホールディングス
 代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 弘展
 (コード番号 3591 東証第1部)
 問合せ先 執行役員 経営企画部長 三宅 弘晃
 (TEL. 075-682-1010)

2021年3月期連結業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ

2020年5月15日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔米国基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	税 引 前 四半期純利益	当社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	70,500	△3,200	△2,500	△2,400	△38.46
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	101,450	9,495	9,326	6,668	103.07

(2) 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	税 引 前 当期純利益	当社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	158,000	△5,000	△3,700	△3,700	△59.29
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	186,760	6,632	4,359	3,472	54.26

(3) 連結業績予想の理由

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、「2020年3月期決算短信〔米国基準〕（連結）」の公表時には、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の拡大影響により、当社グループに与える影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。しかしながら、国内外における緊急事態宣言の解除やロックダウン措置の緩和などにより経済活動が徐々に再開していることから、2021年3月期第1四半期の業績及び現時点において入手可能な予測等を踏まえ、連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。新型コロナウイルスの収束時期は見通せないものの、上記の通り経済活動は徐々に再開しており、地域によって差はあるものの、消費環境は概ね第2四半期以降緩やかに回復するものと見ております。

また、本連結業績予想にあたっては、感染症による再度の大規模な経済活動の停滞については想定しておらず、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を公表いたします。

2. 配当予想について

(1) 配当予想

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	—	—
今回予想	20円00銭	20円00銭	40円00銭
前期実績 (2020年3月期)	40円00銭	20円00銭	60円00銭

(注) 2020年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 36円00銭 記念配当 4円00銭
2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 4円00銭

(2) 配当予想の理由

当社は、株主の皆さまへの利益配分に関しては、収益力向上のための積極的な投資によって企業価値を高め、1株当たり当期純利益の増加を図るとともに、連結業績を考慮しつつ安定的な配当を実施させていただくことを基本方針としています。

内部留保金については、企業価値向上の観点から、国内事業における顧客接点の拡大や、海外事業拡大のための積極的な投資に加えて、競争力の維持や成長力強化のための戦略的投資に活用し、将来の収益向上を通して、株主の皆さまへの還元を図らせていただきたいと思います。

しかしながら、感染症が当社グループに与える影響は甚大であり、収束時期が見通せない状況においては、手元流動性を確保することが喫緊の課題であります。現段階の業績予想、財務の安定及び株主の皆様への安定配当等の観点から、中間配当予想は前期実績から20円減配の1株当たり20円、期末配当予想は前期実績と同額の1株当たり20円とさせていただきます。これにより、年間配当予想は1株当たり40円となります。

※本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。

以上